





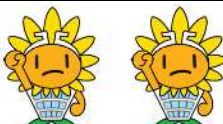






■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州\_2014(v2.0)

## 1 建物概要

建物名称	希望のまち新築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	-----------	-----	-----	--------	----	----

## 2 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.3 /5		ふつう 
2 地球温暖化対策の推進	3.5 /5		ふつう 
3 豊かな自然環境の確保	2.0 /5		がんばろう 
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう 
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4 点以上	
		ふつう 3 点以上	
		がんばろう 3 点未満	

## 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル：CASBEE-建築（新築） 2016年版		使用CASBEE評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v4.02)	
1 循環型社会への貢献		スコア平均 3.4	
リサイクルに関する配慮		長寿命化に関する配慮	
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	スコア 3.5	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア 3.5
		Q2/ 3 対応性・更新性	スコア 3.1
<自由記述>		<自由記述>	
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均 3.6	
省エネ・省資源に関する配慮		節水に関する配慮	
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	スコア 3.1	LR2/ 1.1 節水	スコア 4
<自由記述>		<自由記述>	
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均 2.0	
生態系保全に関する配慮		緑化に関する配慮	
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	スコア 1	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア 2
		LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア 3
<自由記述>		<自由記述>	
4 高齢社会への対応		スコア平均 3.0	
バリアフリーに関する配慮		主な指標	
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	スコア 3	建物の外皮性能 (BPI評価)	
<自由記述>		非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級	
		建物的一次エネルギー消費量 (BEI評価)	
		非住宅:BEI値、住宅: -	
		外構緑化指数	
		建物緑化指数	

:入力欄

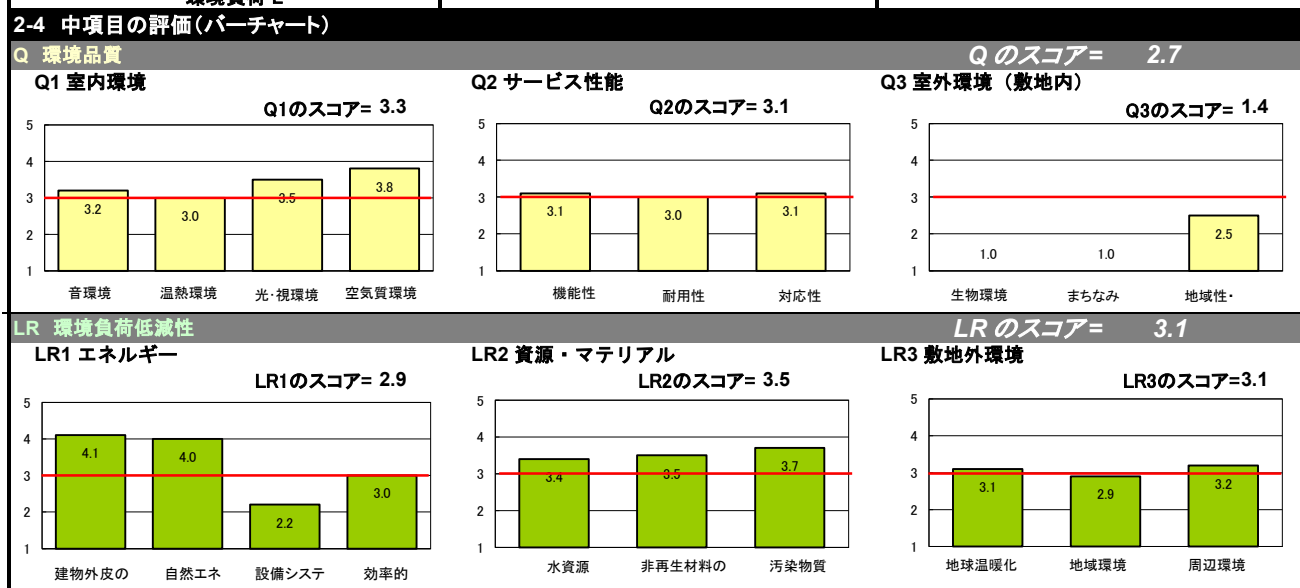
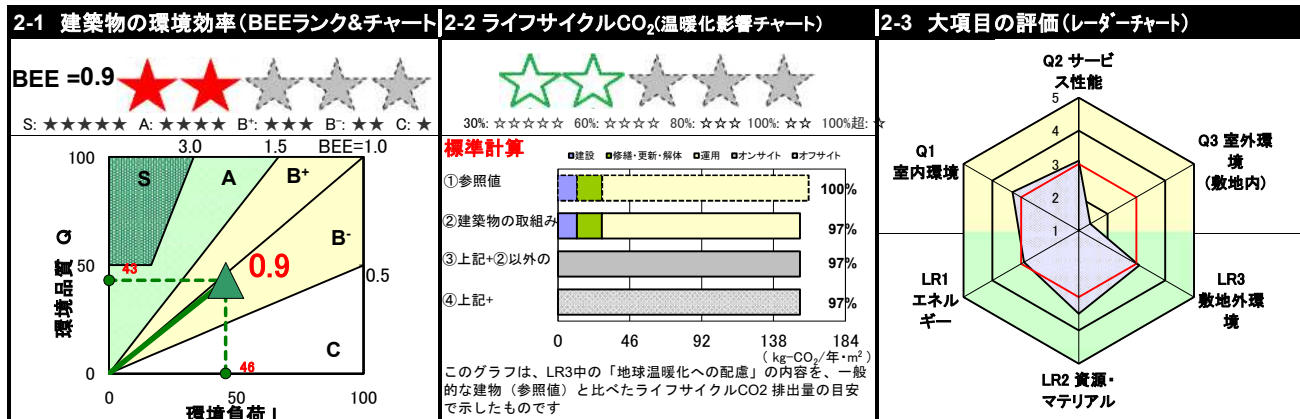
:CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	希望のまち新築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市小倉北区神岳1丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	60 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年11月25日
敷地面積	1,782 m <sup>2</sup>	作成者	上岡祐介
建築面積	1,141 m <sup>2</sup>	確認日	2024年12月9日
延床面積	2,903 m <sup>2</sup>	確認者	上岡祐介

外観パース等

図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

3 設計上の配慮事項		
総合 トップライトの採用により自然光を取り込みかつ、庇・カーテンによりグレア制御するよう配慮した。		その他 なし
Q1 室内環境 床(クッションフロア)天井(GCボード) 共用部: 9.061/居室部: 5.261	Q2 サービス性能 主要用途の上位3種の、2種以上にB以上使用、Eは不使用	Q3 室外環境 (敷地内) 水平投影面積率22.50%
LR1 エネルギー BPI=0.89、トップライトの採用	LR2 資源・マテリアル 節水機器を採用	LR3 敷地外環境 LCCO2=97%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## CASBEE-建築(新築)2016年版

## 希望のまち新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.02)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境					0.40		-	3.3	
1 音環境				3.2	0.15	3.2	1.00	3.2	
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音		—		3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		—		3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		—		3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		床(クッションフロア)天井(GCボード)		4.0	0.20	4.0	0.20		
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温		—		3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能		—		3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		—		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		—		3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式		—		3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.4	0.25	3.6	1.00	3.5	
3.1 昼光利用				4.6	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		共用部:9.061/居室部:5.261		5.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口		—		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		共用部:トップライト		4.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		カーテン・庇によりグレア制御		3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		—		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		—		3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.9	0.25	3.6	1.00	3.8	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		ほぼ全面にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量		—		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		—		-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		—		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視		—		-	-	-	-		
2 喫煙の制御		非喫煙者対策済み		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性				2.7	0.40	4.0	1.00	3.1	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		個室10㎡以上		-	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		—		-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		—		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40		
1 広さ感・景観		天井高2.5m以上		-	-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		—		-	-	-	-		
3 内装計画		—		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		内壁面は防汚性の高い建材を採用、他6項目		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃用資材を保管するスペースを計画している、他7項目		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		—		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床・壁・天井20年		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途の上位3種の、2種以上にB以上使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		—		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		—		2.0	0.20	-	-		
3 電気設備		—		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		—		2.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.1</b>	0.30	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.1</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.4</b>	0.30	<b>3.4</b>	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	4.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>1.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>1.0</b>	0.40	-	-	<b>1.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>4.1</b>	0.20	-	-	<b>4.1</b>
BPI=0.89							
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>4.0</b>	0.10	-	-	<b>4.0</b>
トップライト							
<b>3 設備システムの高効率化</b>			<b>2.2</b>	0.50	-	-	<b>2.2</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水			4.0	0.40	-	-	
節水機器を採用							
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.5</b>	0.60	-	-	<b>3.5</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			4.0	0.22	-	-	
エコウッド・フロアリュウム							
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.22	-	-	
PB+LGS、フリーフロア							
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50	-	-	
グラスウール・吹付ウレタン							
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
LCCO2=97%							
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			5.0	0.70	-	-	
光害チェックリストの過半を満たし、広告物照明はない							
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

希望のまち新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	-	-			-	-	-	-	-						
1.3.1 維持管理に配慮した設計	6.0		○	○	○	-	-	○	-	○	-	○			
1.3.2 維持管理用機能の確保	7.0		-	○	○	○	○	○	-		-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	-		-	-	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		-	-	2.0	-	1.0	-	-	1.0	1.0				
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	1.0		-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-			-											
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		1.0	-	1.0	3.0	-	-	-	-	1.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		-	-	-	1.0	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		-	1.0	1.0	1.0		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

## 主な指標

## Q1 室内環境

## 2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -

U値(W/m<sup>2</sup>K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -

住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -

屋光率 0.0%

自然換気有効開口面積率 0.0%

## 3.1.1 屋光率

## 4.2.2 自然換気性能

## Q2 サービス性能

## 1.1.1 広さ・収納性

執務スペース .0㎡ /人 病床 .0㎡ /床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡

## 1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 0.0 VA/㎡

## 1.2.1 広さ感・景観

天井高 2.5 m

## 1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース % レストスペース %

## 2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 0 年

## 2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 0 年

## 2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 20 年

## 2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

## 3.1.1 階高のゆとり

階高 0 m

## 3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 27.0%

## 3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m<sup>2</sup>

## Q3 室外環境(敷地内)

## 1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 #DIV/0! 建物緑化指数 0%

## 3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 20% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 0% 舗装面積率 0%

## LR1 エネルギー

## 1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI<sub>m</sub> 0.89 断熱等性能等級 対象外 相当

## 2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

BPI/BPI<sub>m</sub> 非住宅 0.96 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

## 3 設備システムの高効率化

## LR2 資源・マテリアル

## 1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

## 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目 エコウッド(ウッドラエコマーク商品 フロアリュウム(床自治体指定の特定品目等) -

## 2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

## 3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

## 3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 0

## 3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

## LR3 敷地外環境

## 2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 #DIV/0! 隣棟間隔指標R<sub>w</sub> -

地表面対策面積率 0.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!

見付面積S<sub>b</sub> ㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W<sub>s</sub> 0 m 基準高さH<sub>b</sub> 0 m

緑地 ㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡